

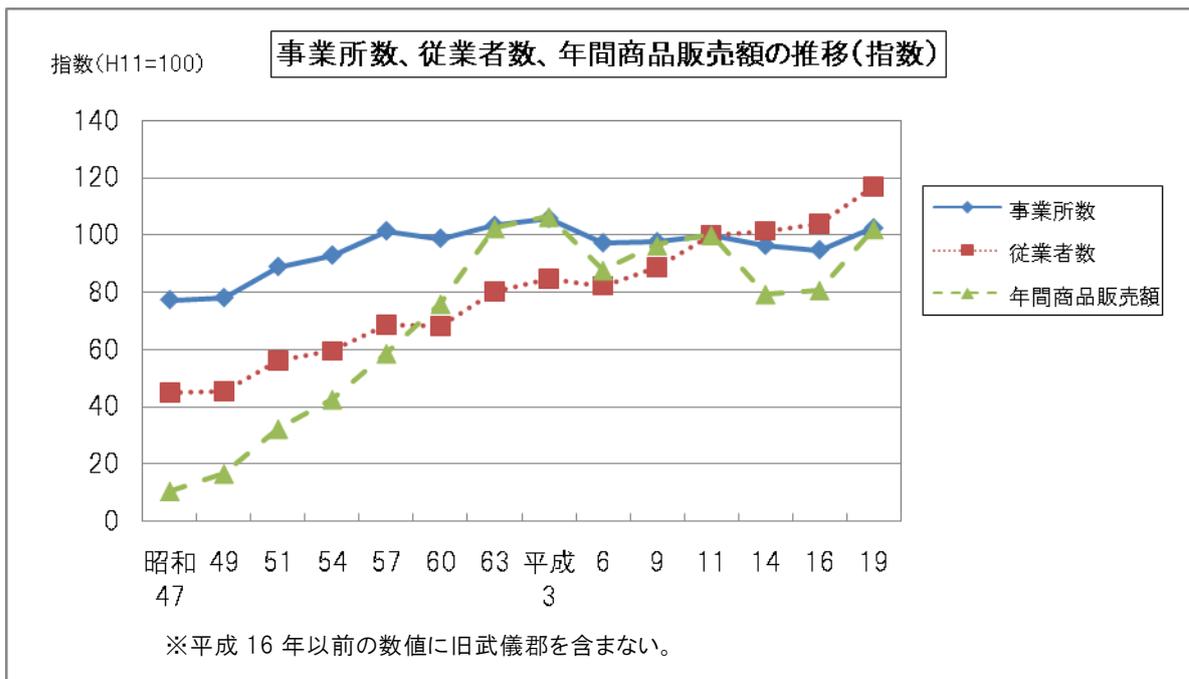
## [ II 調査結果の概要 ]

### 1 概況

事業所数	1,172事業所	(前回比 8.1%増 88事業所増)
		(前回比に旧武儀郡を含む場合 8.8%減 113事業所減)
従業者数	7,705人	(前回比 12.4%増 849人増)
		(前回比に旧武儀郡を含む場合 0.8%増 61人増)
年間商品販売額	18,058,459万円	(前回比 26.5%増 3,783,988万円増)
		(前回比に旧武儀郡を含む場合 18.2%増 2,780,951万円増)

※前回調査は平成16年実施

#### (1) 年次別推移

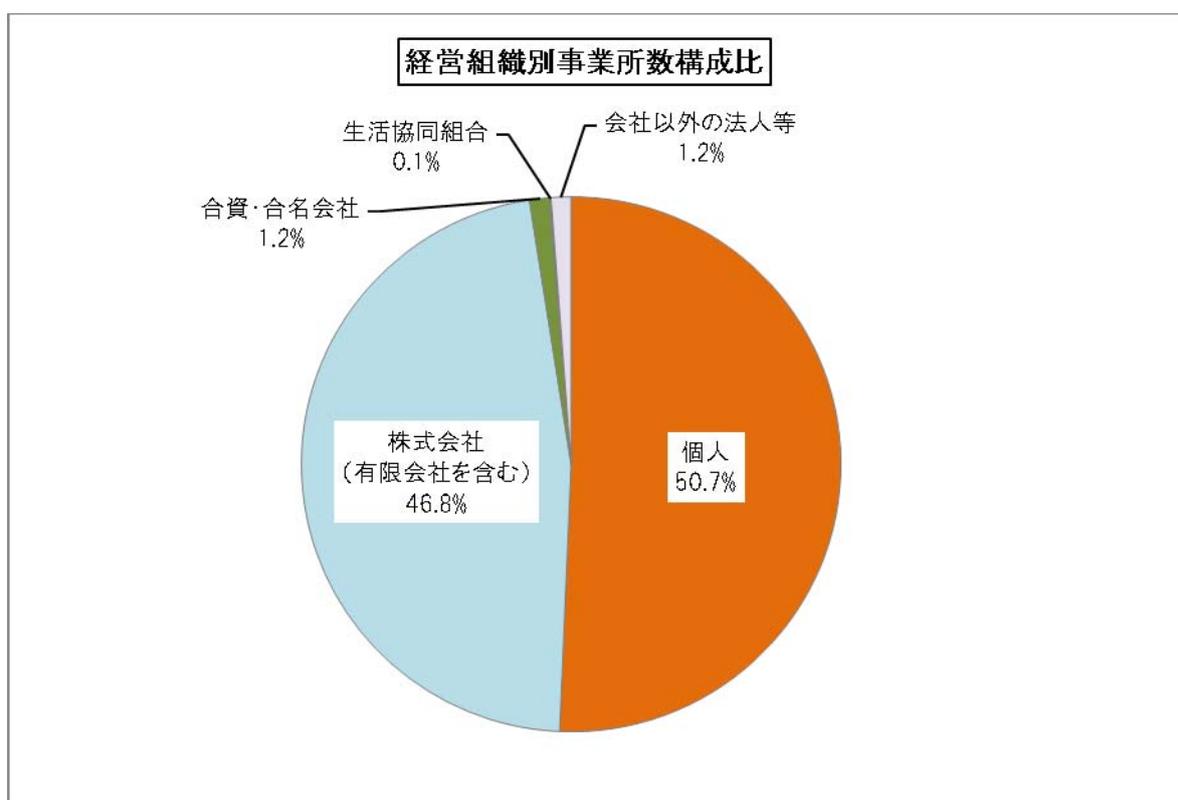


## (2) 経営組織別状況

事業所数を経営組織別にみると、「個人経営」が 594 事業所（構成比 50.7%）、「株式会社（有限会社を含む）」が 549 事業所（同 46.8%）と、2 経営組織で構成比 97.5%とほとんどを占めている。

卸売業は、「株式会社（有限会社を含む）」が 148 事業所（卸売業に占める構成比 63.5%）と最も多く、続いて「個人経営」78 事業所（同 33.5%）となっている。

小売業は、「個人経営」が 516 事業所（小売業に占める構成比 55.0%）と最も多く、続いて「株式会社（有限会社を含む）」401 事業所（同 42.7%）となっている。

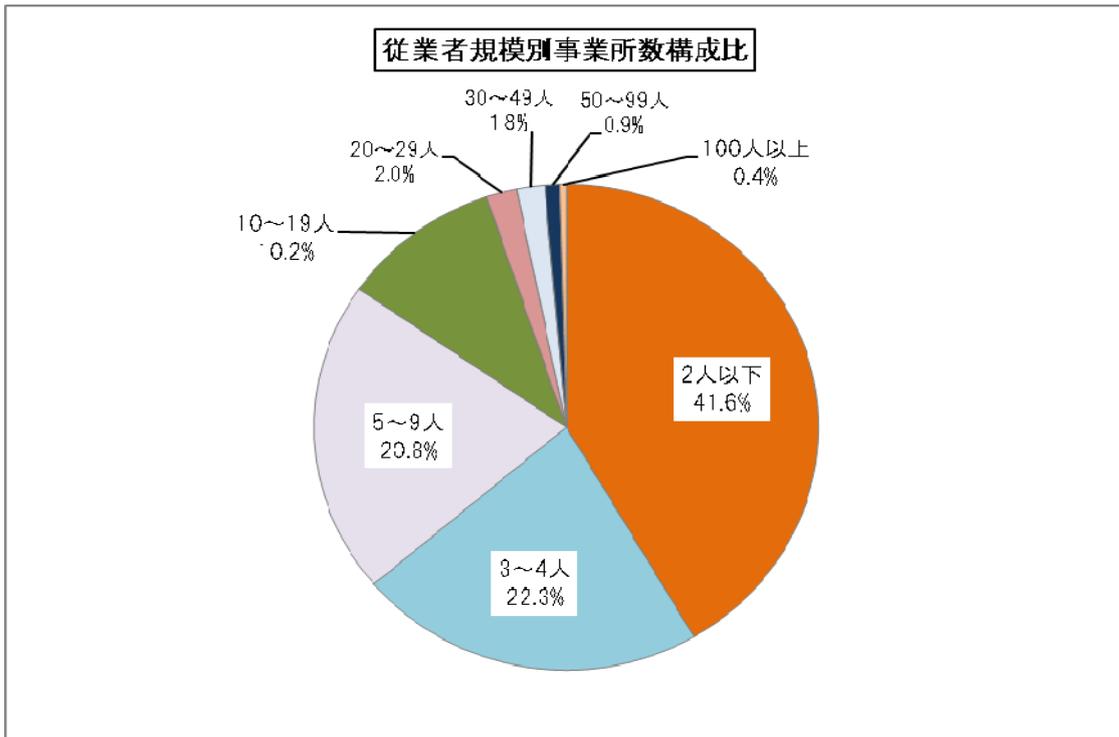


## (3) 従業者規模別状況

事業所数を従業者規模別にみると、「2 人以下」が 487 事業所（構成比 41.6%）と最も多く、続いて「3～4 人」261 事業所（同 22.3%）、「5～9 人」244 事業所（同 20.8%）、「10～19 人」120 事業所（同 10.2%）となっており、従業者規模 19 人以下の事業所が約 95%を占めている。

卸売業は、「2 人以下」が 80 事業所（卸売業に占める構成比 34.3%）と最も多く、続いて「5～9 人」65 事業所（同 27.9%）、「3～4 人」57 事業所（同 24.5%）となっている。

小売業は、「2 人以下」が 407 事業所（小売業に占める構成比 43.3%）と最も多く、続いて「3～4 人」204 事業所（同 21.7%）、「5～9 人」179 事業所（同 19.1%）となっている。



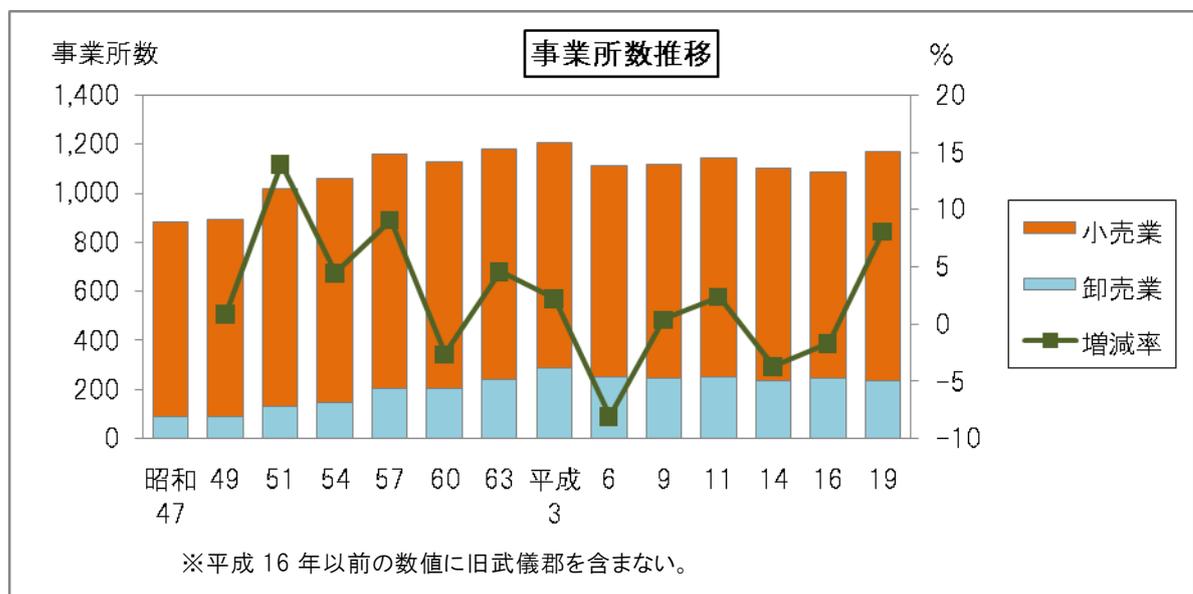
## 2 事業所数

### ～ 卸売業は減少、小売業は増加 ～

事業所数は、1,172 事業所で前回調査（平成 16 年）と比べ 88 事業所（前回比 8.1%）増加した。

卸売業は 233 事業所、小売業は 939 事業所で、前回調査に比べ卸売業は 13 事業所（同△5.3%）減少し、小売業は 101 事業所（同 12.1%）増加した。

前回調査の数値に旧武儀郡を含む場合は、卸売業、小売業ともに減少した。全体では 113 事業所（同△8.8%）減少し、卸売業では 32 事業所（同△12.1%）、小売業では 81 事業所（同△7.9%）減少した。

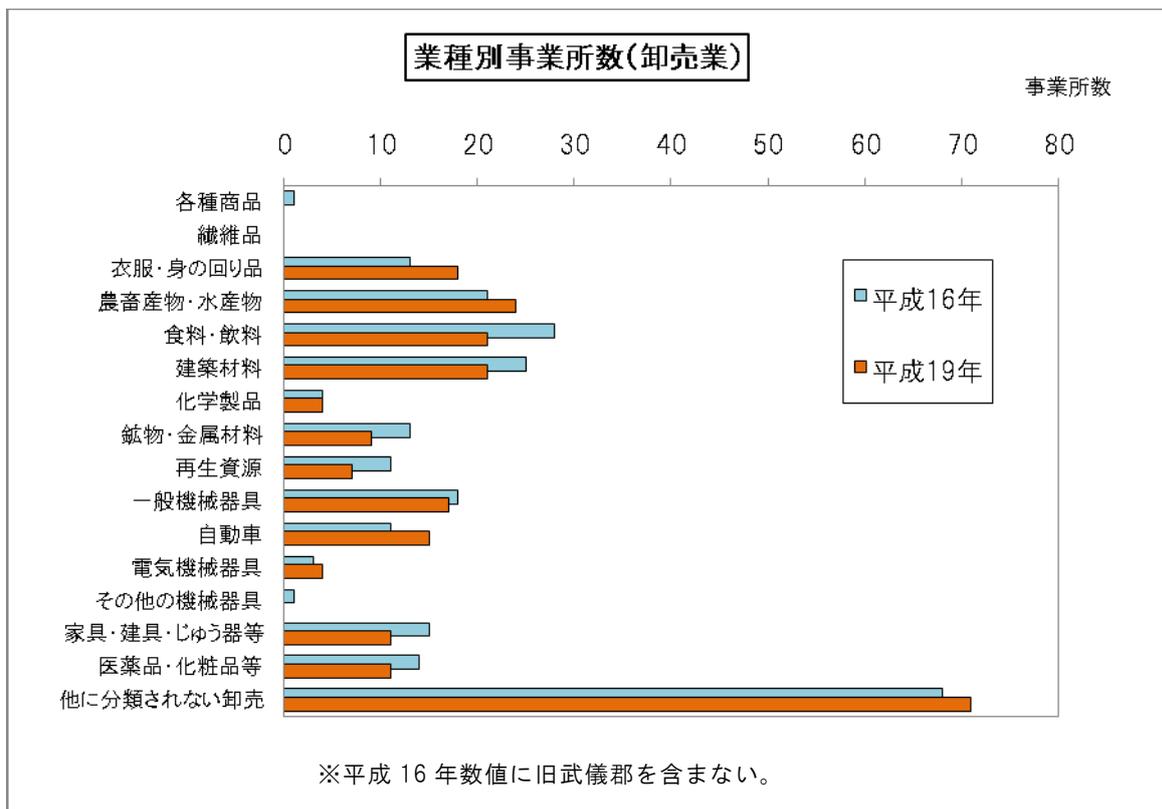
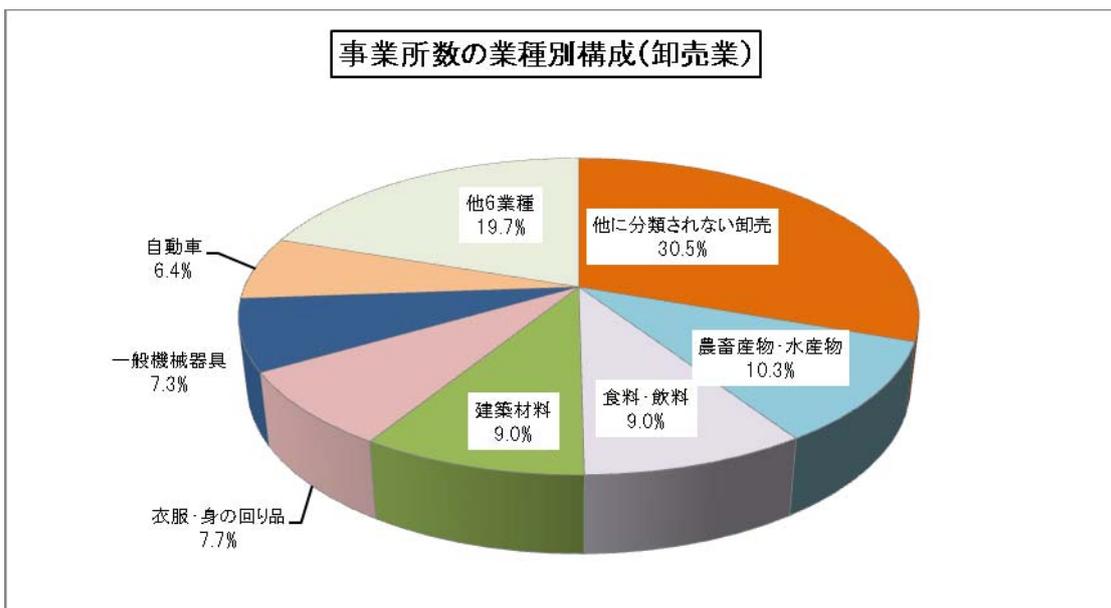


(1) 卸売業

産業小分類別にみると、「他に分類されない卸売」が71事業所（構成比30.5%）と最も多く、続いて「農畜産物・水産物」24事業所（同10.3%）、「食料・飲料」21事業所（同9.0%）、「建築材料」21事業所（同9.0%）の順となっている。

前回調査と比べ増加した業種は、「衣服・身の回り品」（5事業所増）、「自動車」（4事業所増）など5業種、減少した業種は、「食料・飲料」（7事業所減）、「建築材料」（4事業所減）など9業種であった。

前回調査の数値に旧武儀郡を含む場合では、増加した業種は4業種、減少した業種は8業種であった。

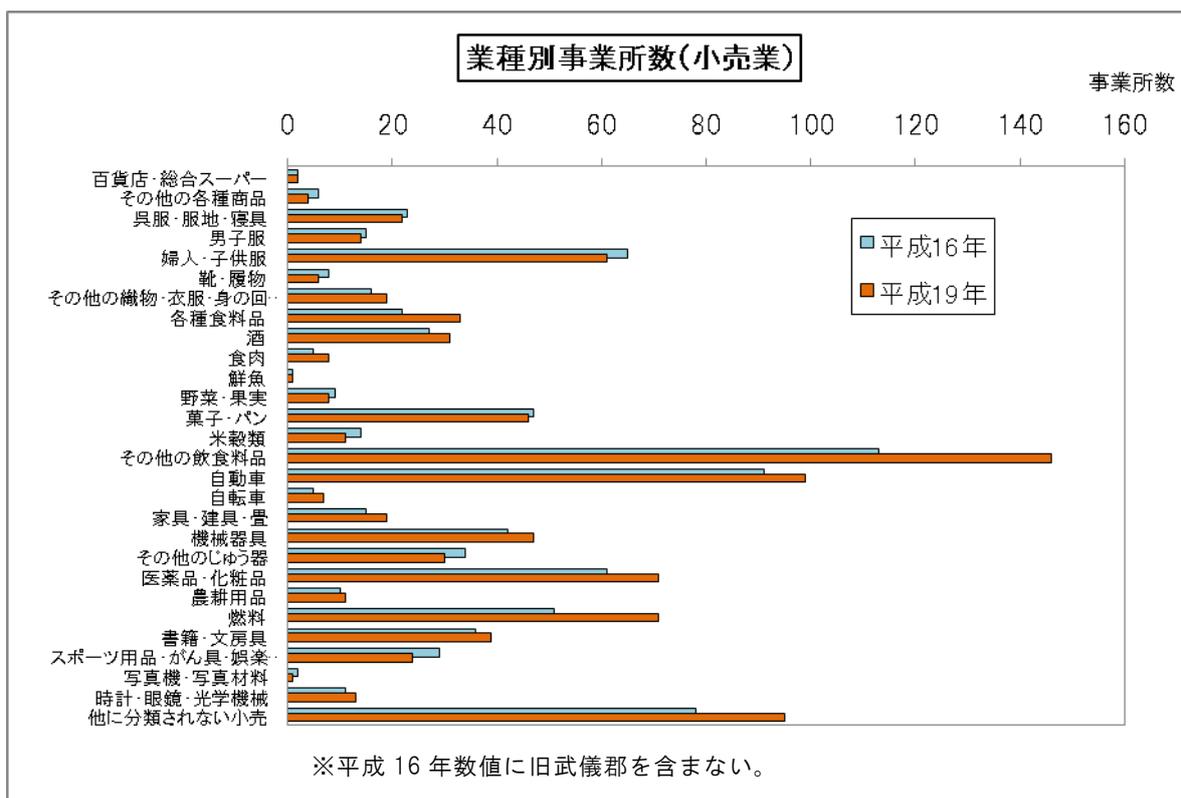
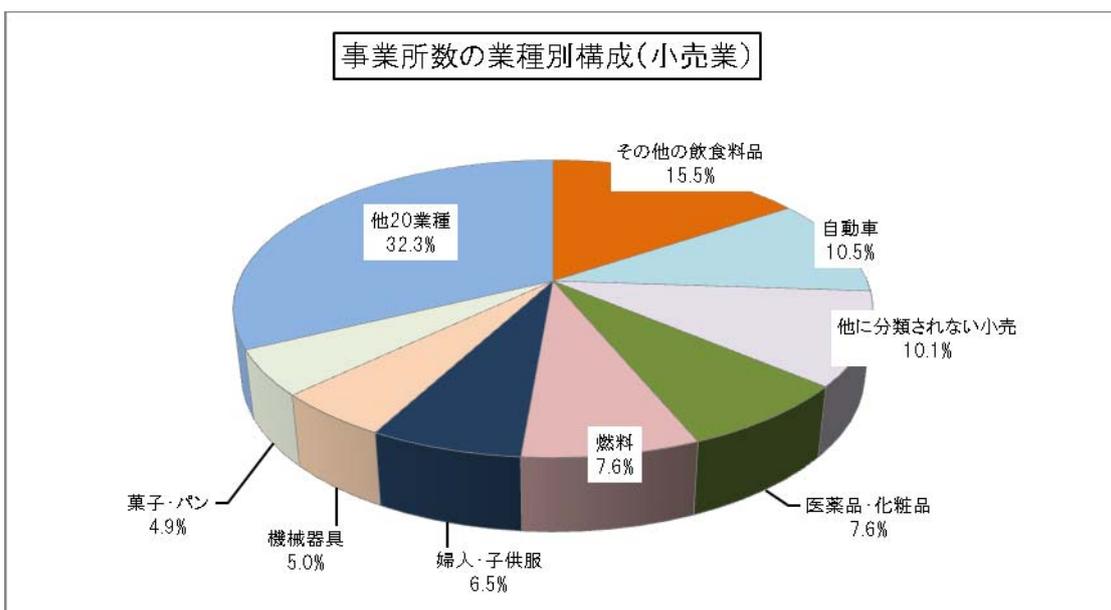


## (2) 小売業

産業小分類別にみると、「その他の飲食料品」が146事業所（構成比15.5%）と最も多く、続いて「自動車」99事業所（同10.5%）、「他に分類されない小売」95事業所（同10.1%）の順となっている。

前回調査と比べ増加した業種は、「その他の飲食料品」（33事業所増）、「燃料」（20事業所増）など15業種、減少した業種は、「スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器」（5事業所減）、「婦人・子供服」（4事業所減）など11業種であった。

前回調査の数値に旧武儀郡を含む場合では、増加した業種は5業種、減少した業種は20業種であった。



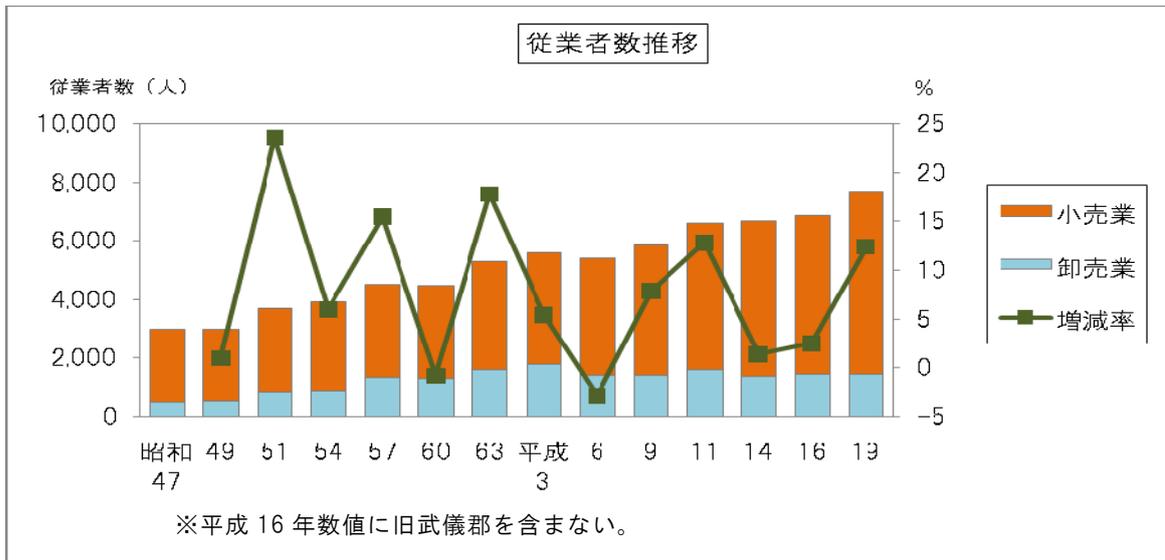
### 3 従業者数

#### ～ 卸売業は減少、小売業は増加 ～

従業者数は、7,705人で前回調査（平成16年）と比べ849人（前回は12.4%）増加した。

卸売業は1,450人、小売業は6,255人で、前回調査に比べ卸売業は4人（同△0.3%）減少し、小売業は853人（同15.8%）増加した。

前回調査の数値に旧武儀郡を含む場合は、全体で61人（同0.8%）増加した。卸売業では78人（同△5.1%）減少し、小売業では139人（同2.3%）増加した。

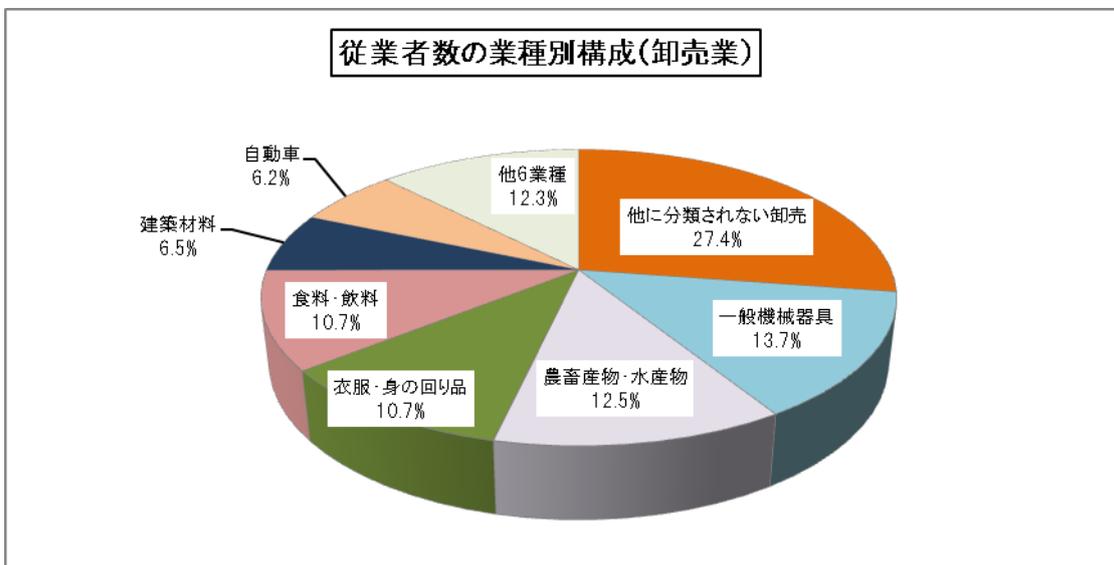


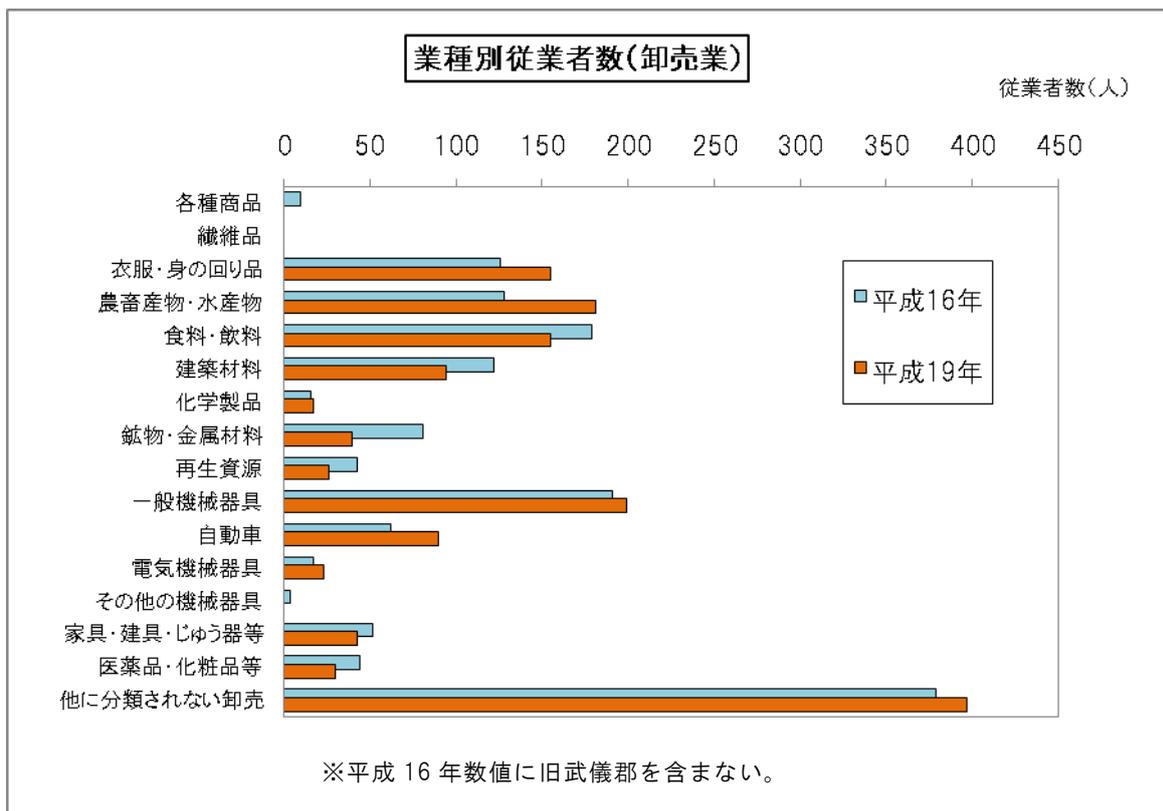
#### (1) 卸売業

産業小分類別にみると、「他に分類されない卸売」が397人（構成比27.4%）と最も多く、続いて「一般機械器具」199人（同13.7%）、「農畜産物・水産物」181人（同12.5%）の順となっている。

前回調査と比べ増加した業種は「農畜産物・水産物」（53人増）、「衣服・身の回り品」（29人増）など7業種、減少した業種は「鉱物・金属材料」（41人減）、「建築材料」（28人減）など8業種であった。

前回調査の数値に旧武儀郡を含む場合は、5業種増加し、10業種減少した。



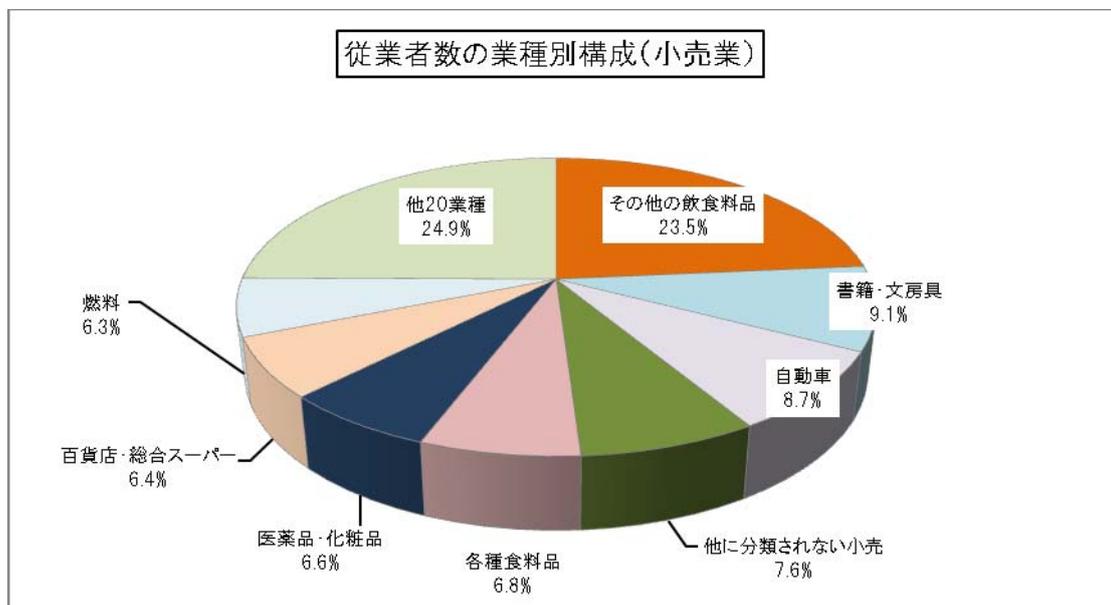


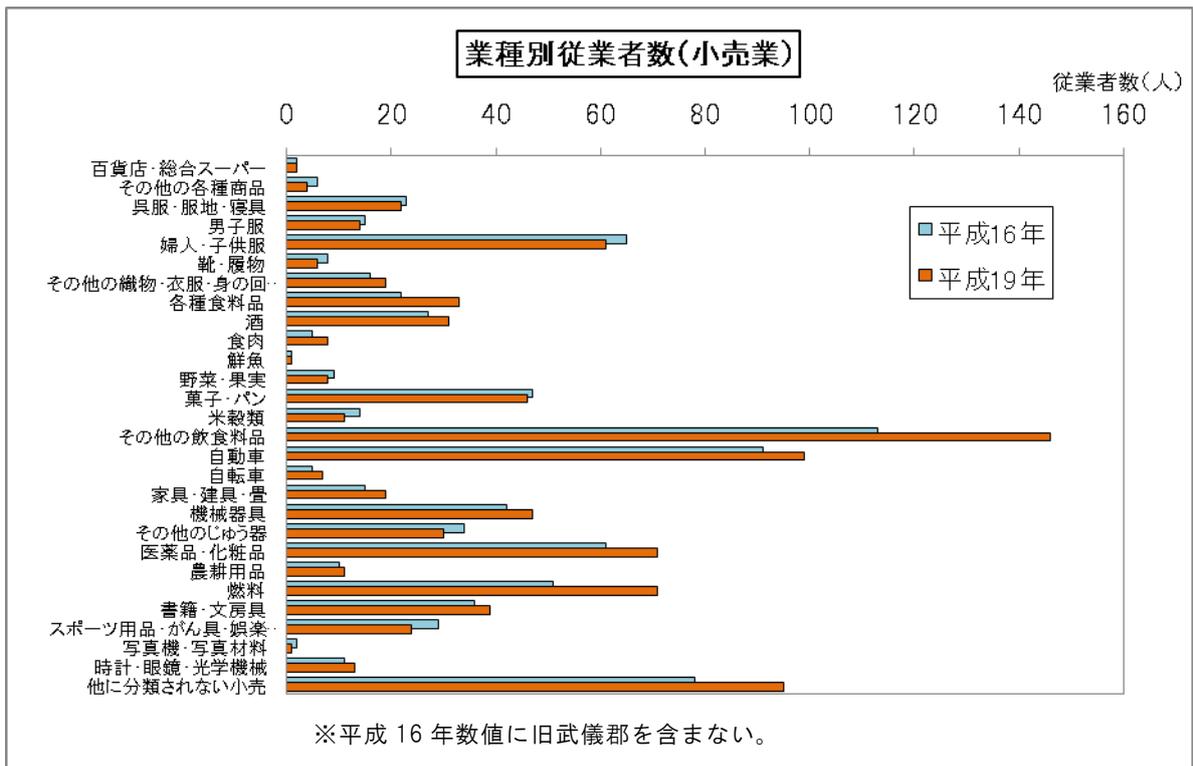
## (2) 小売業

産業小分類別にみると、「その他の飲食料品」が1,473人(構成比23.5%)と最も多く、続いて「書籍・文房具」570人(同9.1%)、「自動車」544人(同8.7%)の順となっている。

前回調査と比べ増加した業種は、「その他の飲食料品」(560人増)、「他に分類されない小売」(221人増)など14業種、減少した業種は、「各種食料品」(143人減)、「その他のじゅう器」(28人減)など12業種であった。

前回調査の数値に旧武儀郡を含む場合では、8業種増加し、19業種減少した。





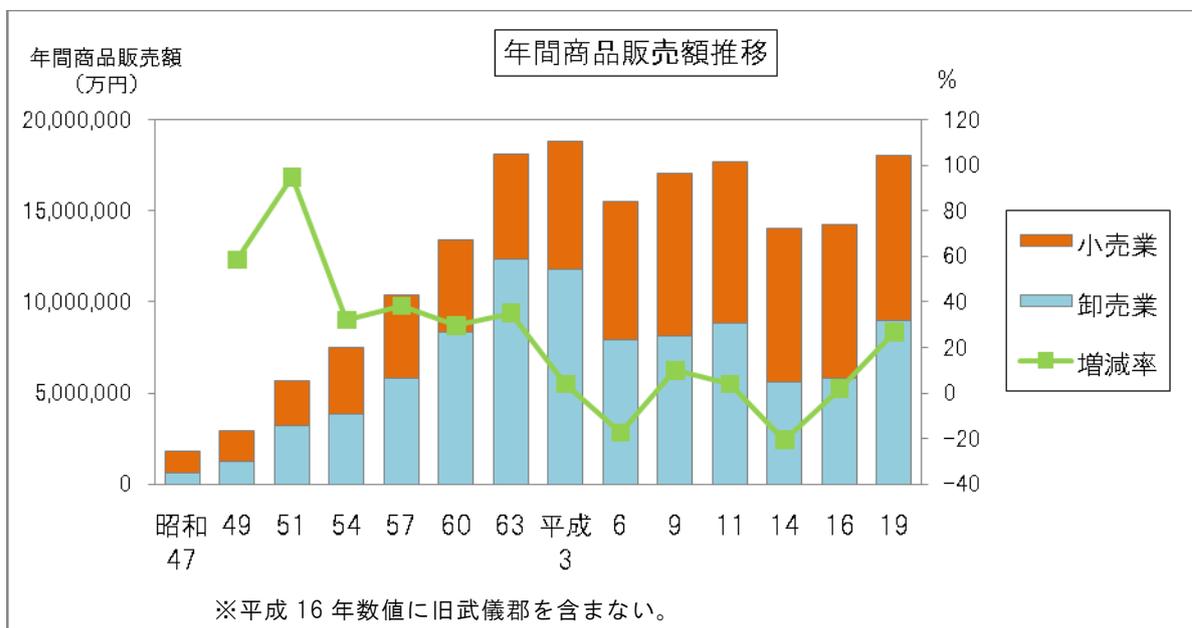
#### 4 年間商品販売額

##### ～ 卸売業・小売業ともに増加 ～

年間商品販売額は、18,058,459 万円で前回調査（平成16年）と比べ3,783,988 万円（前回比26.5%）増加した。

卸売業は8,979,052 万円、小売業は9,079,407 万円で、前回調査に比べ卸売業は3,169,112 万円（同54.5%）、小売業は614,876 万円（同7.3%）増加した。

前回調査の数値に旧武儀郡を含む場合では、全体で2,780,951 万円（同18.2%）増加した。卸売業では2,926,325 万円（同48.3%）増加し、小売業では145,374 万円（同△1.6%）減少した。

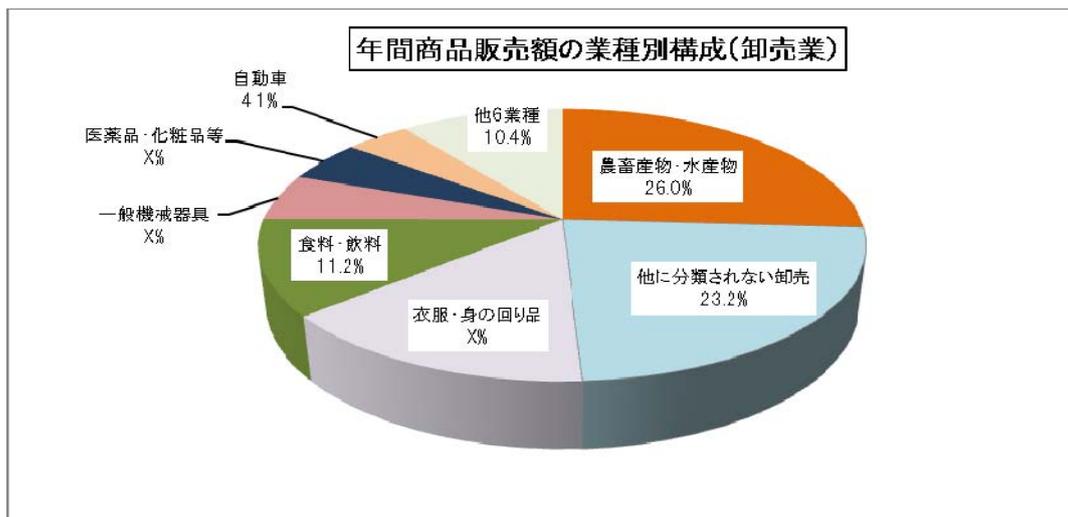


## (1) 卸売業

産業小分類別にみると、「農畜産物・水産物」が2,331,566万円（構成比26.0%）と最も多く、続いて「他に分類されない卸売」2,079,645万円（同23.2%）、「衣服・身の回り品」X万円（同X%）の順となっている。

前回調査と比べ増加した業種は、「農畜産物・水産物」（1,976,502万円増）、「他に分類されない卸売」（843,886万円増）など7業種、減少した業種は、「一般機械器具」（X万円減）、「鉱物・金属材料」（X万円減）など8業種であった。

前回調査の数値に旧武儀郡を含む場合でも、増加した業種、減少した業種は同数だった。

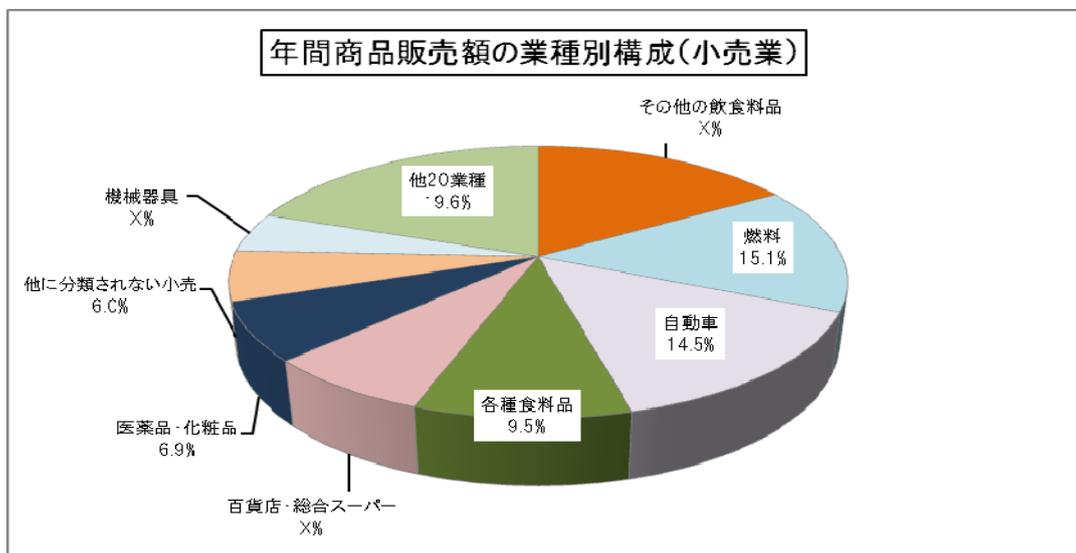


## (2) 小売業

産業小分類別にみると、「その他の飲食料品」がX万円（構成比X%）と最も多く、続いて「燃料」1,369,632万円（同15.1%）、「自動車」1,315,929万円（同14.5%）の順となっている。

前回調査と比べ増加した業種は、「その他の飲食料品」（X万円増）、「燃料」（480,589万円増）など12業種、減少した業種は、「各種食料品」（381,388万円減）、「その他のじゅう器」（X万円減）など16業種であった。

前回調査の数値に旧武儀郡を含む場合では、9業種増加し、19業種減少した。



## 5 単位当たりの年間商品販売額（販売効率）

### 〔1 事業所当たりの年間商品販売額〕

1 事業所当たりの年間商品販売額は、15,408 万円で前回調査（平成 16 年）と比べ 17.0% の増加となった。卸売業は 38,537 万円、小売業は 9,669 万円で、前回調査に比べ卸売業は 63.2% 増加し、小売業は 4.3% 減少した。

前回調査の数値に旧武儀郡を含む場合は、29.6% の増加となった。卸売業は 68.7% の増加、小売業は 6.9% 増加であった。

#### （1）卸売業

産業小分類別にみると、「農畜産物・水産物」が 97,149 万円と最も多く、続いて「衣服・身の回り品」X 万円、「食料・飲料」48,102 万円の順となっている。

前回調査と比べ増加した業種は、「農畜産物・水産物」（前回比 474.6%）、「食料・飲料」（同 83.0%）など 9 業種、減少した業種は、「衣服・身の回り品」（同 X%）、「一般機械器具」（同 X%）など 6 業種であった。

前回調査の数値に旧武儀郡を含む場合では、増加した業種は 10 業種、減少した業種は 5 業種であった。

#### （2）小売業

産業小分類別にみると、「百貨店・総合スーパー」が X 万円と最も多く、続いて「各種食料品」26,179 万円、「燃料」19,291 万円の順となっている。

前回調査と比べ増加した業種は、「他に分類されない小売」（前回比 110.0%）、「自転車」（同 44.2%）など 13 業種、減少した業種は、「その他のじゅう器」（同 X%）、「各種食料品」（同△53.8%）など 15 業種であった。

前回調査の数値に旧武儀郡を含む場合では、増加した業種は 12 業種、減少した業種は 16 業種であった。

### 〔従業者 1 人当たりの年間商品販売額〕

従業者 1 人当たりの年間商品販売額は、2,344 万円で前回調査（平成 16 年）と比べ 12.6% の増加となった。卸売業は 6,192 万円、小売業は 1,452 万円で、前回調査に比べ卸売業は 55.0% 増加し、小売業は 7.3% 減少した。

前回調査の数値に旧武儀郡を含む場合は、17.3% の増加となった。卸売業は 56.3% の増加、小売業は 3.7% の減少であった。

#### （1）卸売業

産業小分類別にみると、「医薬品・化粧品等」が X 万円と最も多く、続いて「農畜産物・水産物」12,882 万円、「衣服・身の回り品」X 万円の順となっている。

前回調査と比べ増加した業種は、「農畜産物・水産物」（前回比 364.4%）、「医薬品・化粧品等」（同 X%）など 10 業種、減少した業種は、「一般機械器具」（同 X%）、「化学製品」（同△10.8%）など 5 業種であった。

前回調査の数値に旧武儀郡を含む場合では、増加した業種は 9 業種、減少した業種は 6 業種であった。

## (2) 小売業

産業小分類別にみると、「燃料」が3,485万円と最も多く、続いて「機械器具」X万円、「自動車」2,419万円の順となっている。

前回調査と比べ増加した業種は、「写真機・写真材料」(前回比X%)、「自転車」(同83.6%)など13業種、減少した業種は、「その他のじゅう器」(同X%)、「食肉」(同X%)など15業種であった。

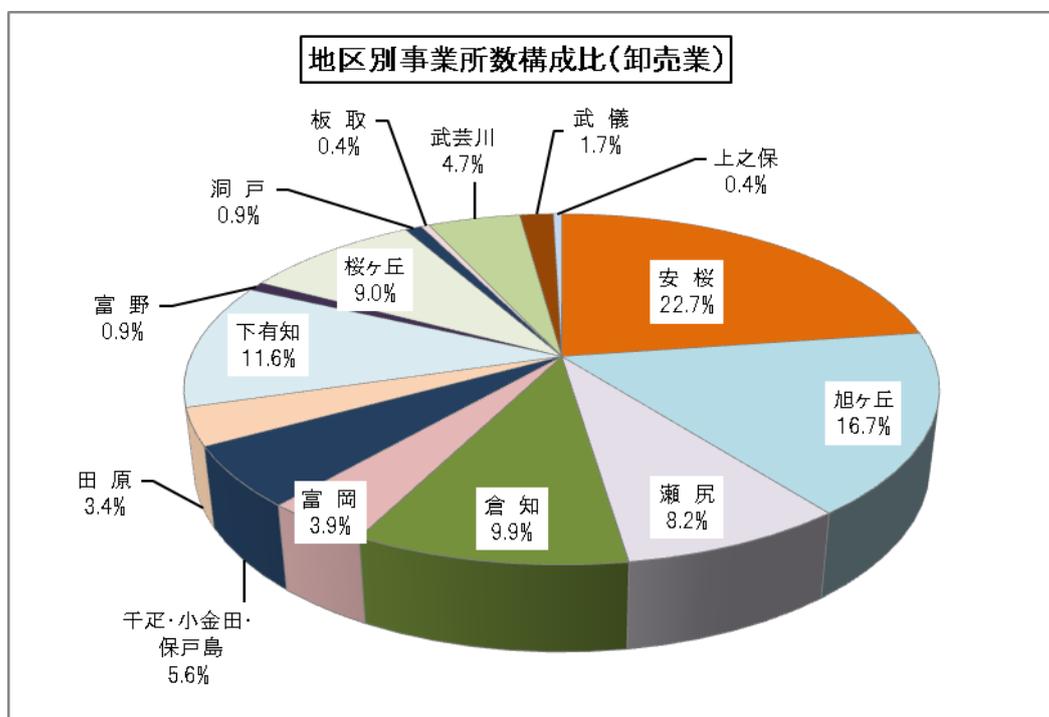
前回調査の数値に旧武儀郡を含む場合には、増加した業種は12業種、減少した業種は16業種であった。

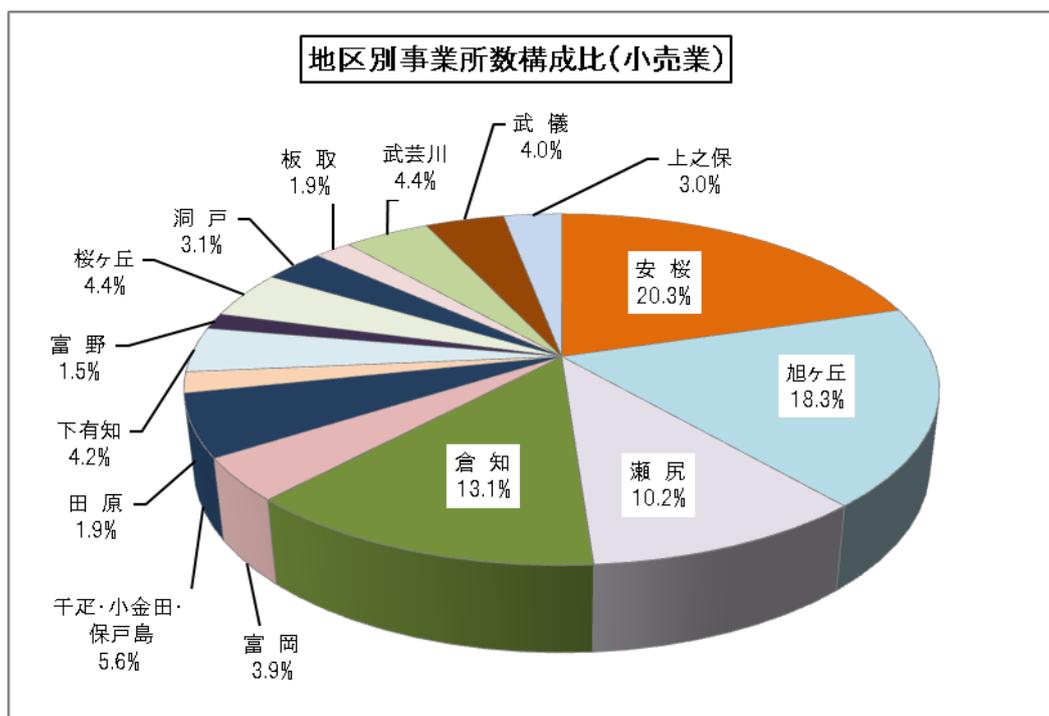
## 6 地区別状況

### (1) 事業所数

事業所数は、卸売業、小売業ともに安桜地区が最も多く、卸売業53事業所、小売業191事業所であった。続いて旭ヶ丘地区が卸売業39事業所、小売業172事業所となっており、2地区とも前回調査(平成16年)と比べると減少しているもののこの2地区で全体の約4割を占めている。

また、ほとんどの地区で卸売業、小売業ともに減少しており、増加したのは富野地区の小売業(1事業所増)、洞戸地区の卸売業(1事業所増)、武芸川地区の卸売業(4事業所増)のみであった。





## (2) 従業者数

卸売業では、安桜地区が 267 人と最も多く、続いて旭ヶ丘地区 223 人、下有知地区 212 人となっている。小売業でも、安桜地区が 1,069 人と最も多く、続いて倉知地区 1,025 人、旭ヶ丘地区 1,005 人となっている。

また、千疋・小金田・保戸島地区、田原地区、武芸川地区では、卸売業、小売業ともに前回調査と比べ増加した。

## (3) 年間商品販売額

卸売業では、田原地区が 2,005,026 万円と最も多く、続いて倉知地区 1,720,134 万円、千疋・小金田・保戸島地区 1,254,923 万円となっている。小売業では、瀬尻地区が 1,844,849 万円と最も多く、続いて倉知地区 1,565,338 万円、安桜地区 1,471,179 万円となっている。

また、安桜地区、瀬尻地区、千疋・小金田・保戸島地区、田原地区、下有知地区では、卸売業、小売業ともに前回調査と比べ増加した。